

事業所名		フレンズ		支援プログラム		作成日	令和 6 年 12 月 20 日				
法人(事業所)理念		こどもたちの人権を守り、その意思を尊重し、感性をいっそう輝けるものとするとともに、共生空間を実現していくことを目指します。									
支援方針		こどもたち一人一人の出来ることを増やし、自信をもって自分で出来る力を持てるよう支援して行きます。いろいろな遊びや体験活動等を通してコミュニケーションや、社会での関わり方を学べる機会を提供し、適切な支援の仕方を考えていきます。ご家族の相談援助や関係機関との連携を実施し、総合的な支援を行うことを目指します。									
営業時間		9	時	0 分	から	18 時	0 分	まで	送迎実施の有無	あり	通常営業時:学校、学校指定バス停までの迎え
		支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	・送迎時や、来所時に、健康状態を確認し、何かあれば必要な対応を適切に行います。 ・生活習慣(ハロールール「検温・リュックをロッカーに入れる・トイレ・手洗い」)を習慣と身に付け、活動するように支援して行きます。 ・ハロールールがわかりにくいこどもたちには、イラストや写真等を示しながら支援して行きます。									
	運動・感覚	・こどもたちの発達に合わせて、ボール・平均台・縄跳び等のいろいろな道具を使って、動きの中からいろんな遊びを交えながら支援して行きます。 ・集団活動では、体操教室などに参加して身体を動かす活動を提供し、楽しく運動が出来る機会を図って行きます。 ・バランスボールに乗って、スタッフと競争したり、タイムレースをしたりと、感覚を研ぎ澄ませるように支援して行きます。									
	認知・行動	・集団活動をして行く中で、集合時間や出発時間などを、学習しながら身に付けられるように支援します。 ・宿題や個々の学習への支援を通じて、こどもたちのレベルに合った支援を行って行きます。 ・四季や季節に合わせて、壁面の工作活動や個々の興味に合わせて、ともだち同士で取り組む支援をして行きます。									
	言語・コミュニケーション	・こどもたち同士の遊びの中で、物の貸し借りをして行く中で「かして」や「ありがとう」と、言葉での支援を行って行きます。 ・こども同士のコミュニケーションの取り方の中で、サイン・身振り・指差し等を用いて意思の伝達が出来るように工夫をして行きます。 ・DVDや音楽・歌に合わせて歌いリズムを取るなどの活動を通じて、ともだちと過ごす楽しさを工夫して行きます。									
	人間関係・社会性	・いろいろな遊びを通じて、一人で遊ぶよりも、スタッフや他の友達と遊ぶを繰り返しながら、スタッフと一緒に集団行動に参加で気つように支援して行きます。 ・遊びやゲームを通して、ルールや順番を理解し、役割分担や共同遊びに関わりを持ち、他の友達との関りを持てるように支援して行きます。									
家族支援		・日々のこどもの様子は、HUGでお知らせします。特別な事は、お迎えの時にお話をしたいと思います。 ・定期的に面談を行いますが、必要に応じて話し合いの場を設けます。					移行支援		・必要な時は、学校や他の放課後等デイサービスなどと連絡を取り、情報交換や情報提供をし、こどもの状態を把握し支援の仕方を検討します。		
地域支援・地域連携		・相談事業所と情報交換をしながら、連携したより良い支援を行って行きます。 ・地域の交流の場を設定し、より良い環境で支援を行って行きます。					職員の質の向上		・定期的な支援会議や、個々のこどもたちへの、支援の仕方を話し合ったりします。 ・外部での研修や、職員研修をし、各職員の向上を図ります。		
主な行事等		・季節のイベント・読み聞かせ・作品展・バスでお出かけ・避難訓練・他デイとの合同交流会									